

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進
概要	<p>戦略的な自治体運営を推進するため、長期的な視点に立ち、周辺自治体や町民、民間等との連携や、施策や事業等の柔軟な運用を行います。</p> <p>また、事業及び施策について、外部評価も含めた評価制度を活用し、効率的・効果的な運用を進めるため、事業費を含めた見直しや、統廃合を進めます。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 計画的な行財政改革の促進	3	B
(2) 安定的な財政基盤の確立	2	B
(3) 広域連携の推進	1	A
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・施策や事業の見直しに繋がる、また町民にわかりやすい評価システムの構築と、次期計画の策定に向けた、現計画総括の手法の検討。 ・公会計を統一的な基準へ改定し、活用する段階へ移行する。 ・徴税については、新たな納付方法について検討し、速やかな滞納処分を実施する。 ・様々な枠組みにおける広域連携を模索しながら、目的を明確にしていく必要がある。 	

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
説明	<p>各種評価システムについては、町民にわかりやすく、業務改善に繋がるような改善が必要。また、公会計における財務諸表作成の委託業務が確立されつつあるが、職員のスキルアップによる改善の可能性はある。なお、収納率向上・財源確保のため必要な措置については引き続き推進するとともに、広域的な枠組みにより、様々な行政課題の解決を図る必要がある。</p>	
方向性	<p>①町民が理解できる、②職員が業務改善の意識を持てる、③職員の業務負担を軽減する、の3つの視点を持って評価システムの見直しを進め、次期計画へと繋げる。また、公会計の活用にあたっては、活用可能分野を定めた上で、資料調製、公表に臨む。なお、引き続き収納の機会の維持・拡充を図り財源確保に取り組むとともに、スケールメリットが期待できる業務や広域的な連携が必要な業務などについて広域行政を推進し、効果的な行政サービスを目指す。</p>	

◎最終評価者[庁内評価委員会]

A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
意見等	<p>戦略的行政運営を実現するために、戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。</p> <p>今後さらに推進するために、各種評価システムについては、評価に事業仕分けの視点を加えた上で評価システム自体を簡略化し、その結果のさらなる活用により、評価結果を経費削減や業務の見直しに繋げる。また、収納体制の強化や滞納整理をより一層推進し、収納率の向上を図ることで、自主財源の確保と安定的な行政サービスの提供を実現する。併せて、広域的な行政課題や自治体間で共通する行政課題の解決に向け、県や近隣市町村との連携を深めるとともに、既存の枠組みにとらわれることなく、柔軟にそのあり方や手法について検討する。</p>